

事業番号	95
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	(準)浜名川支川護岸改修事業				担当課	道路河川課	
事業期間	開始年度	平成23	～	終了予定年度	平成26	担当係	整備係
総合計画	めざすまちの姿	安全で安心して暮らせるまち					
	目標	自然災害に備える（防災）					
	成果指標	防災意識の啓発や防災対策が十分になされて いると感じる市民の割合			中間目標 (H27)	30%	最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	8 款 土木費	3 項 河川費	1 目 河川費			
	細事業	187 河川等整備費					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	河川法					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的 (何のため)	河川改修を行うことにより、水害防止等、災害に強い河川として、自然及び生活環境の向上を図る。						
内容(概要)	経年変化による護岸崩壊対策として護岸改修を行う。 事業延長 L=244m ・右岸 ブロック積工 L=242m 防護柵工 L=244m ・左岸 自然石護岸工 L=242m						
これまでの改善・ 見直しの状況	・支川右岸側は市道となっており、護岸の洗掘によるせり出しにより、道路と護岸との間に隙間が生じ年々広がっている状況であり舗装補修により隙間を埋めている。 根本的な改修を行わないと護岸崩壊にもつながる危険性がある。 左岸側についても護岸張ブロックの崩壊により、補修を行っている状態である。						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	0	5,000	0	(内訳)
	決算	0	2,482		普通建設事業費(委託料) 2,482
財源内訳	国庫支出金		2,200		
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源		282		
職員人件費	0	2,282	0	人工	0.3 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
活動指標	護岸改修詳細設計	目標		護岸改修計画		100%
		実績		設計委託により計画策定完了		
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				
平成23年度活動内容	(準) 浜名川支川護岸改修事業 護岸改修により、水害防止等災害に強い河川として、自然及び生活環境の向上を図る。 ・護岸詳細設計 L=244m					
実績・改善 課題・問題点となった事項	浜名川支川の土砂堆積対策。					
どう対処したか	河床に低水路敷を設けるなど、流下能力を高める方策の検討を行なう。					
改善点	詳細設計に際し、護岸ブロックの材料比較を行い、性能、経済性、景観に優れた材料を採用した。				効果額 H24-H23 (千円)	6,000千円の縮減予定
自己評価	事業目的の達成状況	詳細設計の完了に伴い、早期の工事着手に向け準備を行う。				
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	護岸崩壊により河川機能が阻害されるほか、隣接する市道が通行不可となり市民生活に支障が出る。				
	判定	A 継続	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	市民の安全性、利便性を図っていくうえで、継続的整備を進めていく必要がある。				
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸改修事業の推進に向けた事業予算計画（事業予算の確保） ・浜名川支川の堆積土砂対策（支川全体の改修計画の策定） 				